
1988

研究集録 第6号

研 究 主 題

発達段階・能力のちがいに応じて、ひとりひとりをどう教育するか。

—言語の指導、日常生活の指導を通して—

まえがき

—小学部の研究—

○学ぶ主体を育てる「生活」を目指して

1. はじめに
2. 学習する主体の形成過程
3. 行動を左右する心理モデル
4. 主体的に学習する子どもの自立程度を表す指標
5. 教材観及び、教材
6. 行動誘導について
7. 主体未形成の状態と主体の偏りの状態の判別について
8. 判別後の教育について
9. 作業及び、高等部「生活」との関係について
10. 生涯教育の中での養護学校教育が占める位置について
11. おわりに

○自閉症児の社会的自立のための行動形成についての指導(1)—指導内容の設定—

1. はじめに
2. 指導内容決定にさきだって
3. 小学部に在籍する自閉症児たちの実態
4. 指導内容表
5. 今後の課題

○一人ひとりの行動傾向をふまえた指導のあり方

1. はじめに
2. 研究の目標
3. 研究方法
4. 実勢事例
5. 今後の課題

○生き生きとした表現活動をめざした音楽指導の実践

1. はじめに
2. 障害児の音楽療法研究
3. 主題設定について
4. 対象とする児童について
5. 指導の方法
6. 実践を通じて子どもたちに見られた反応及び変化
7. 考察と今後の課題
8. まとめ

○生活する力の基礎づくり

1. はじめに
2. 生徒の実態
3. 研究の方法
4. 月例の実践記録
5. 実践事例
6. 結びにかえて

—中学部の研究—

○作業学習における補助具の開発

1. はじめに
2. 作業学習について
3. 補助具の開発

4. 作業学習の実際
5. 終わりにあたって

—高等部の研究—

○多様な障害を持つ生徒の生活力を高める取り組み

1. はじめに
2. 研究の経過
3. 本校高等部の「生活」の考え方
4. 生徒の実態
5. 高等部生徒個人目標
6. 経験課題の学年配当表
7. 生活年間計画表
8. 生活指導内容表(2学期)
9. 「生活」指導案について
10. 事例紹介
11. まとめ
12. おわりに

あとがき